
難聴・言語・弱視

※「ことばの教室」「きこえとことばの教室」「目の教室」「弱視学級」があります。

【難聴学級】 学校名（教室名）
＜小学校＞ ◎旭丘小学校（きこえの教室） ◎石神井小学校（きこえとことばの教室） ＜中学校＞ ◎開進第二中学校（難聴学級）
【言語障害学級】 学校名（教室名）
＜小学校＞ ◎南町小学校（ことばの教室） ◎北町西小学校（ことばの教室） ◎石神井小学校（きこえとことばの教室） ◎関町北小学校（ことばの教室） ◎大泉小学校（ことばの教室） ＜中学校＞ ※設置校なし
【弱視学級】 学校名（教室名）
＜小学校＞ ◎中村西小学校（目の教室） ＜中学校＞ ◎開進第三中学校（弱視学級）

校長 高石 直貴

副校長 田崎 清文

所在地 旭丘2-21-1

1. 学級数・在籍児童数（令和7年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	男	1	1	1	0	0	0	3
	女	0	1	2	0	2	0	5
	計	1	2	3	0	2	0	8

2. 教育目標

児童が、難聴から生じる困難を解決しながら、在籍校における学習や諸活動に参加していくことを支援する。

3. 指導の重点（基本方針）

- ① 聴覚管理・補聴器や人工内耳の管理が自分で行えるようにする。
- ② 残存聴力を活かし補聴器や人工内耳を活用して“きく力”を高める。
- ③ 発音・発話の明瞭度を上げる。
- ④ コミュニケーションの力を伸ばし、コミュニケーション意欲を高める。
- ⑤ 学習の基礎となる言語力を高める。

4. 週時間割

	時間	月	火	水	木	金
1	8:45～10:15	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動
2	10:30～ 12:00	自立活動	自立活動	教室会議	教室研究会	教育相談
3	13:45～ 15:15	自立活動	都難言他 研究会	自立活動	自立活動	自立活動
4	15:15～ 16:45	自立活動		自立活動 (グループ指導)	自立活動	ケース会議

5. 主な年間行事

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ① 入級を祝う会・通級はじめの会（4月） | ⑤ 設置校児童との交流会（11月） |
| ② 小学校難聴学級合同学習（7月） | ⑥ 成人難聴者との交流会（11月） |
| ③ 小中学校難聴学級交流会（7、10月） | ⑦ 発表会（12月） |
| ④ 小学校難聴学級交流会（9、1月） | ⑧ 通級終了を祝う会・通級おわりの会（3月） |

（変更になる場合があります。）

6. 電話

学 級（3972）4815（兼FAX）
 職員室（3957）2151
 事務室（3957）2152
 FAX（3958）9007

旭丘小学校 きこえの教室

私たちの学級は・・・

難聴通級指導学級（きこえの教室）です。

難聴児が、難聴から生じる困難を解決しながら、通常の学級で生活し学習していくことを支援します。

☆通級制です。

通級児は、週1～8単位時間「きこえの教室」で学習します。

（通級回数や通級曜日は、保護者や在籍校と話し合って決めます。）

※「きこえの教室」での学習は、教育課程の一部とみなされます。

遅刻・早退にはなりません。

☆個別指導を基本とします。

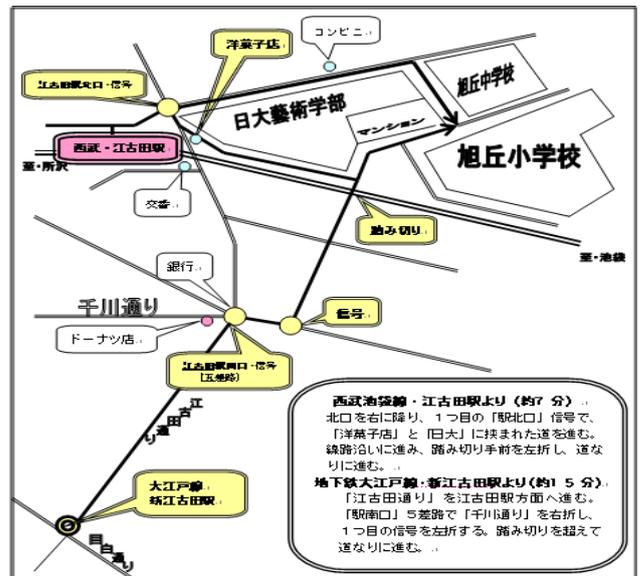
通級児の課題や力に合わせて、興味や関心を大切にしながら指導します。必要に応じて小集団指導も取り入れています。

保護者や在籍校と話し合い、指導内容を決め指導します。

※入・退級は年度や学期に関係ありません。

支援の必要に応じて、入・退級していただけます。

☆指導内容は、通級児一人一人に合わせて考えていきます。



主な指導内容

コミュニケーションの力を伸ばすために
聴覚管理 補聴器・人工内耳の活用
発音・発話 必要に応じて視覚的手段の活用
学習する力を伸ばすために
語彙拡充 読解 話の構成 構文 表記
数量理解 時間・空間理解
社会参加の力を伸ばすために
障害の客観的な理解
必要な配慮を要請する知識と力

校長 垣崎 晃

副校長 椎名 由美子

所在地 石神井台1-1-25

1 学級数・在籍児童数（令和7年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
2	男	1	1	1	2	1	1	7
	女	1	2	1	3	4	5	16
	計	2	3	2	5	5	6	23

2 教育目標

聴覚を最大限に活用する力を養い、難聴に伴う様々な困難を軽減し、

- ①思いやりがあり、友達と仲良くできる子供に育てる。
- ②のびのびと話のできる子供に育てる。
- ③よく考え、行動できる子供に育てる。
- ④話をよく聴くことができる子供に育てる。

3 指導の重点（基本方針）

- ①実際の経験等の具体的学習活動を通して、自己理解や障害理解を深める。
- ②児童の発達の進んでいる側面を更に促進させることによって、自信と意欲を喚起し、課題となっている側面の伸長や改善に役立てる。
- ③児童が興味をもって主体的に取り組み、成就感を味わうことができるような指導事項を設定する。
- ④指導効果の向上を図るために、在籍学級及び家庭との連携を密接にする。
- ⑤適切な指導を行うために、医療機関等、関連諸機関との連携を図る。

4 週時間割

	月	火	水	木	金	土	時間帯
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	教育相談 諸会議	8:50～
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		10:20
中休み							
3	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	教室会議		10:40～
4	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動			12:10
給食・昼休							
5	ケース会議	都雑言	自立活動	自立活動	自立活動		13:30～
6		ブロック・	自立活動	自立活動	自立活動		15:00
7	自立活動	専門・役員 研究会	自立活動	グループ学習	自立活動		15:05～
					自立活動		16:35

5 主な年間行事

- ①入級を祝う会（4月） ②夏祭り（7月） ③きこえの教室合同学習（7月）
- ④成人難聴者との交流会（9月） ⑤きこえとことばの発表会（11月）
- ⑥お楽しみ会（12月） ⑦きこえグループおわりの会（2月） ⑧春風の集い（3月）

6 電話

学級（3997）3279

FAX（3997）3279

職員室（3997）3277

事務室（3997）3276

石神井小学校 きこえの教室

私たちの学級は…

難聴通級指導学級(きこえの教室)です。

難聴児が、難聴から生じる様々な困難を解決しながら、通常の学級で生活し、学習していくのを支援します。

※通級制です。

○通級児は、週1～数回、「きこえの教室」で勉強します。

(何曜日に何時間通級するかは、保護者や在籍校の先生と相談をして決めます。)

○「きこえの教室」での学習は、教育課程の一部とみなされます。在籍学級の授業を抜けても遅刻・早退・欠席扱いにはなりません。

※個別指導を基本にしています。

○通級児の課題や力に合わせて、興味・関心を大切にしながら、次のような指導をしています。

- ・ きこえの状態の確かめ
- ・ 補聴器や人工内耳を使う練習
- ・ 音やことばを聞き取る練習
- ・ 発音練習
- ・ 語彙を増やす指導
- ・ 正しいことばの使い方を身につける指導
- ・ コミュニケーションを促進する指導



しながら、次

※様々な形態のグループ(小集団)指導を取り入れています。

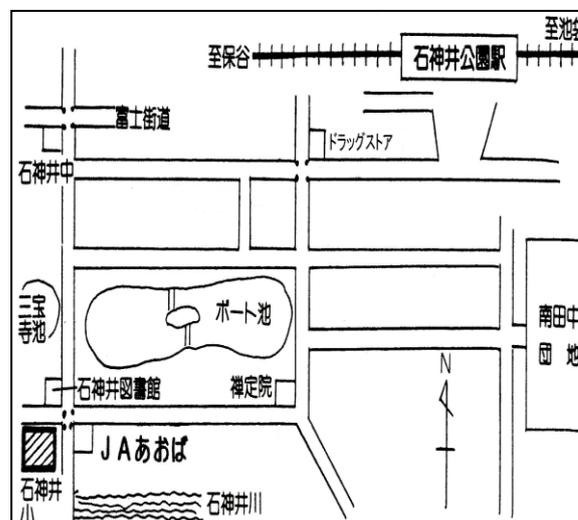
○小集団活動を通して、子どもたち同士や、先生との関わりを深め、通常の学級での適応を促進します。

**※こんなことが思いあたら
気軽に相談を…**

- ・ 呼びかけても振り向かない。
- ・ 呼んでも返事をしないことがある。
- ・ 「えっ？」と聞き返すことが多い。
- ・ 発音がはっきりしない。
- ・ ことばが少なく、話がよく分からない。
- ・ テレビの音を大きくする。

いつでも相談をお待ちしています。

TEL 3997-3279



校長 星 美登里

副校長 鈴木 すみ絵

所在地 練馬2-7-5

1. 学級数・在籍児童数 (令和7年4月現在)

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
3	男	4	9	7	6	1	0	27
	女	1	7	7	3	0	0	18
	計	5	16	14	9	1	0	45

2. 教育目標

南町小学校の教育目標「つよく かしくく あたたく」を受けて、言葉の改善を図り、学校生活に
適応することをめざす。

- つよく …… ◎伸び伸びと話のできる子供を育てる。
 かしくく …… ・よく考え、行動力のある子供の育成を図る。
 あたたく …… ・思いやりがあり、友達と仲良くできる子供を育てる。

3. 指導の重点 (基本方針)

- ① 児童の課題を把握し、個に応じた教材や指導方法を工夫して指導を行う。(指導計画の作成)
- ② 専門家の指導助言を受け、指導に生かす。(専門家診断)
- ③ 個々の児童の指導目標や指導法を検討しあい、指導を深める。(ケース会議)
- ④ 在籍学級担任と情報を共有し、連携して指導に当たる。(在籍校訪問)
- ⑤ 家庭と連携して指導を行う。(保護者面談)
- ⑥ 専門的知識と技能を習得し、資質の向上と指導力の充実を図る。(研究・研修会)

4. 週時間割

	月	火	水	木	金	土	時間帯
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	言語運営研究会	8:50~10:20
2							
3	研究・研修 教室会議	自立活動	自立活動	ケース会議 自立活動	ことばの相談 自立活動		10:45~12:15
4							
5	自立活動	都難言協 ブロック研究	自立活動	自立活動	自立活動	13:35~15:00	
6							
7	自立活動	専門研究	自立活動	自立活動	自立活動		15:00~16:30

5. 主な年間行事

- ①在籍校訪問(6月) ②個人面談(7、12、3月) ③交流会(11月) ④保護者講演会(2月)

6. 電話

校長室 (3993) 2430 学級 (3993) 4500 学級FAX (3993) 4500
 職員室 (3993) 2438 学校FAX (5984) 1930 事務室 (3993) 2439

南町小学校 ことばの教室紹介

言葉に心配がある子供たちを個別に指導している教室です。

ことばの教室に通級するとは

- ・ んだんは、それぞれの学校で勉強しながら、週に1～2回程度（1回45～90分）時間を決めて、ことばの教室に通います。遅刻・早退・欠席扱いにはなりません。
- ・ 1対1の個別指導が中心ですが、必要に応じて小グループで指導することもあります。
- ・ 指導は専門の教師が行います。
- ・ 通級の際は、保護者の付き添いを原則とします。
- ・ 必要に応じて、医師、その他の専門家とも連絡を取り合います。
- ・ 在籍学級訪問を行い、担任の先生と話し合うことで、通級児童についての共通理解を図ります。

このような指導をしています

・・・人と一緒にいると楽しい、聞きたい、話したい、伝えたい・・・
こんな気持ちを育てることが、言葉の発達には最も大切です。
楽しくやりとりしながら、自分からすすんで話す気持ちを育てます。



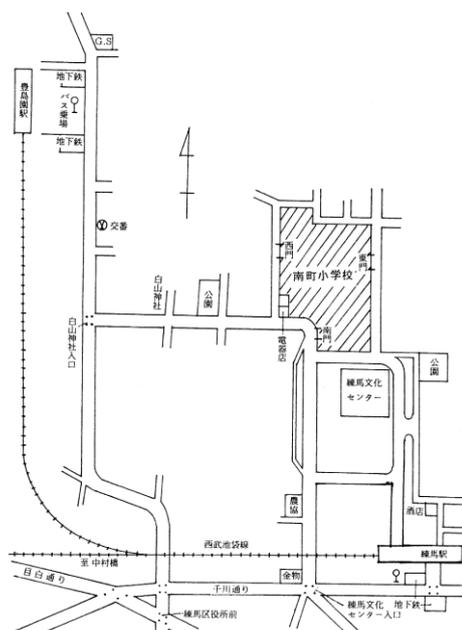
- ・ 発語器官（唇、舌、顎など）の運動機能や、正しい発音と誤った発音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
- ・ 伸び伸びとした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
- ・ 言葉の数を増やす、言葉を正しく組み立てることができるようにする、場に合った言葉が使えるようにするなど、言葉の力を伸ばします。
- ・ 読み書きの苦手さの原因を探り、有効な学習法を考えます。
- ・ 保護者の方と話し合い、家庭での子供へのよりよい対応について考えます。
- ・ 在籍学級の先生に、ことばの教室での様子を伝えたり学級での様子をうかがったりして、課題の改善に役立てます。

このような心配があればご相談を

1. 発音が正しくできない
 - ・ せんせいを「テンテイ」、かがみを「タダミ」というなど発音に誤りがある。
 - ・ 発音がはっきりしない。
2. 言葉がなめらかに出ない
 - ・ 「まままかかか」「まーくかか」「・・・ぼっくかか」など、くり返したり、引き伸ばしたり、つまったりして苦しそうに話す。
3. 言葉の発達が遅れている
 - ・ 知っている言葉の数が少ない。
 - ・ 言葉がうまくつながらない。
 - ・ 意味のとれない話をする。
 - ・ 他のことに比べて読み書きが苦手である。

通級区域校(18校)

南町小 旭丘小 小竹小 豊玉小 豊玉第二小
豊玉東小 豊玉南小 中村小 中村西小 練馬小
開進第二小 開進第三小 開進第四小
練馬第二小 練馬第三小 向山小 高松小 春日小



校長 風見 由起夫

副校長 服部 哲

所在地 北町7-3-8

1. 学級数・在籍児童数（令和7年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
3	男	1	9	10	8	1	3	32
	女	3	5	4	1	2	0	15
	計	4	14	14	9	3	3	47

2. 教育目標

ことばの改善を図り、学校生活に適應することを目指して、以下の目標を設定する。

- ①伸び伸びと話のできる子
- ②思いやりがあり、友達と仲良くできる子
- ③よく考え、がんばる子

3. 指導の重点（基本方針）

- ①自立活動を行う。（ことばの課題、心理的な安定）
- ②個別指導を中心に指導を行う。
- ③在籍校や保護者と協力・連携を図り、指導を進める。
- ④専門家の指導助言を受け、児童の実態に応じた適切な指導を進める。

4. 週時間割

	月	火	水	木	金	時間帯
	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	打ち合わせ	8:35~8:45
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	8:45~10:15
2						
中休み						10:15~10:45
3	教育相談	自立活動	自立活動	自立活動	教室会議	10:45~12:15
4						
給食・昼休						12:15~13:30
5	自立活動	ブロック会 グループ指導 研修会	自立活動	自立活動	自立活動	13:30~15:00
6						
7						
						15:00~16:30

5. 主な行事

学習発表会（11月下旬～12月上旬）

吃音グループ指導（年数回）

6. 電話

学級 (3932) 7631

FAX (電話に同じ)

職員室 (3932) 7234

事務室 (3932) 7235

北町西小学校 ことばの教室紹介

ことばについて心配がある子供たちを個別に指導している教室です。
ことばの改善を図り、子供たちがしっかりと学校生活に適応していくための支援をしています。

ことばの教室に通級するとは

- ・普段は、それぞれの学校で勉強しながら、週に1～2回程度（1回45～90分）時間を決めて、ことばの教室に通います。遅刻・早退・欠席扱いにはなりません。
- ・1対1の個別指導が中心ですが、必要に応じて小グループで指導することがあります。
- ・指導は専門の教師が行います。
- ・通級の際は、保護者の付き添いを原則とします。
- ・必要に応じて、医師、その他の専門家とも連絡を取り合います。
- ・在籍校訪問を行い、担任の先生と話し合うことで通級児童についての共通理解を図ります。

このような指導をしています

・・・・・・・・人と一緒にいると楽しい、聞きたい、話したい、伝えたい・・・・・・・・
こんな気持ちを育てることが、ことばの発達には最も大切です。
楽しくやりとりしながら、自分から進んで話す気持ちを育てます。

- ・発語器官（唇、舌、顎等）の運動機能や、正しい発音と誤った発音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
- ・伸び伸びとした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
- ・ことばの数を増やす、ことばを正しく組み立てることができるようにする、場に合ったことばが使えるようにするなど、ことばの力を伸ばします。
- ・保護者の方とことばの改善のために必要なことを話し合い、家庭での子供へのよりよい対応について話し合います。
- ・在籍学級の先生に、ことばの教室での様子を伝えたり学級での様子をうかがったりして、ことばの改善に役立てます。

このようなご心配があればご相談を

- 1 発音が正しくできない。
 - ・せんせいを「テンテイ」、かがみを「タダミ」など発音に誤りがある。
- 2 ことばがなめらかに出てこない。
 - ・「ぼぼぼくがね」「ぼーーーくがね」等と、繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
- 3 ことばの発達が遅れている。
 - ・知っていることばの数が少ない。
 - ・ことばがうまくつながらない。
 - ・意味のとれない話をする。



通級区域校

開進第一小 練馬東小 仲町小 田柄小 田柄第二小 北町小 北町西小 早宮小
旭町小 光が丘第八小 光が丘四季の香小 光が丘春の風小 光が丘夏の雲小 光が丘秋の陽小

校長 垣崎 晃

副校長 椎名 由美子

所在地 石神井台1-1-25

1 学級数・在籍児童数（令和7年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
3	男	2	7	9	3	5	6	32
	女	0	4	3	6	2	0	15
	計	2	11	12	9	7	6	47

2 教育目標

ことばの改善を図り、学校生活に適応することをめざして

- ① 思いやりがあり、友達と仲良くできる子供に育てる。
- ② のびのびと話のできる子供に育てる。
- ③ よく考えて、行動できる子供に育てる。

3 指導の重点（基本方針）

言語障害およびコミュニケーションの障害の状態を改善・克服し、学校、家庭、地域社会での適応をより確かなものにするをねらいに、

- ① 実際的な経験などの具体的学習活動を通して、障害の状態の改善・克服の意欲を高める。
- ② 児童の発達の進んでいる側面を更に促進させることによって、自信と意欲を喚起し、課題となっている側面の伸長や改善に役立てる。
- ③ 児童が興味を持って主体的に取り組み、成就感を味わうことができるような指導事項を設定する。
- ④ 指導効果の向上を図るために、在籍学級および家庭との連携を密接にする。
- ⑤ 適切な指導を行うために、医療機関等、関連諸機関との連携を図る。

4 週時間割

	月	火	水	木	金	土	時間帯
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	教育相談 諸会議	8：50~
2	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動		10：20
中休み							
3	教育相談	自立活動	自立活動	教室会議	ケース会議		10：40~
4		自立活動	自立活動	教室研究会		12：10	
給食・昼休							
5	自立活動	都難言 フロッ ク・専門研 究会	自立活動	自立活動	自立活動		13：30~
6	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動		15：00
7	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動		15：05~
8	自立活動		自立活動	自立活動	自立活動		16：35

5 主な年間行事

- ①夏祭り：体験学習会（7月） ②きこえとことばの発表会（11月） ③春風の集い：おわかれ会（3月）

6 電話

学級（3997）3279
職員室（3997）3277

FAX（3997）3279
事務室（3997）3276

石神井小学校 ことばの教室紹介

ことばに心配のある子供たちを個別に指導している教室です。

ことばの教室に通級するとは

- ・普段は、それぞれの学校で勉強しながら、週に1～2回程度(1回45～90分)時間を決めて、ことばの教室に通います。遅刻、早退、欠席扱いにはなりません。
- ・1対1の個別指導が中心ですが、必要に応じて小グループで指導することもあります。
- ・指導は専門の教師が行います。
- ・通級の際は、保護者の付き添いを原則とします。
- ・必要に応じて、医師、その他の専門家とも連絡を取り合います。
- ・在籍学級訪問を行い、担任の先生と話し合うことで通級児童についての共通理解を図ります。

このような指導をしています

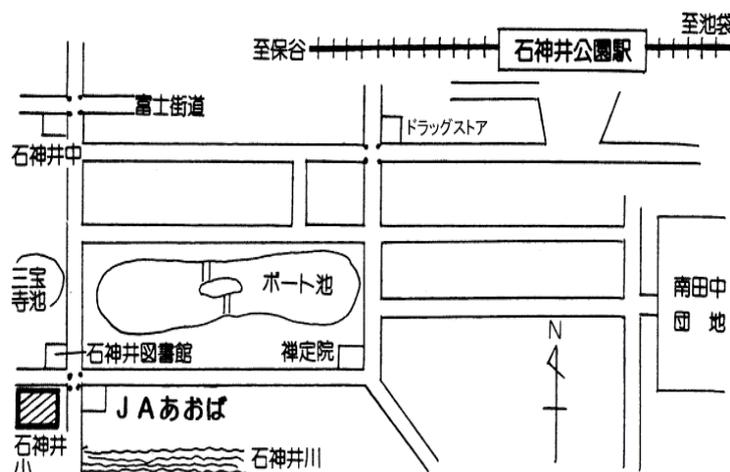
- 人と一緒にいると楽しい、聞きたい、話したい、伝えたい・・・
こんな気持ちを育てることが、ことばの発達には最も大切です。
楽しくやり取りをしながら、自分からすすんで話す気持ちを育てます。
- ・発語器官(唇、舌、顎など)の運動機能や、正しい発音と誤った発音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
 - ・のびのびとした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身に付けたりできるようにします。
 - ・ことばの数を増やす、ことばを正しく組み立てることができるようにする、場に合ったことばが使えるようにするなど、ことばの力を伸ばします。
 - ・保護者の方とことばの改善のために必要なことを話し合ったり、家庭での子供へのより良い対応について話し合ったりします。
 - ・在籍学級の先生に、ことばの教室での様子を伝えたり学級での様子をうかがったりして、ことばの改善に役立てます。

このような心配があればご相談を

- 1 発音が正しくできない。
 - ・「せんせい」を「テンテイ」、「かがみ」を「タダミ」など発音に誤りがある。
- 2 ことばがなめらかに出てこない。
 - ・「ぼぼぼくがね」「ぼーくがね」等と、繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
- 3 ことばの発達が遅れている。
 - ・知っていることばの数が少ない。
 - ・ことばがうまくつながらない。
 - ・意味のとれない話をする。
 - ・文字の書き誤りがある。漢字を覚えるのが苦手である。

◆ 通級区域校 ◆

石神井小、石神井東小、上石神井北小、
下石神井小、光和小、谷原小、北原小、
南田中小、南が丘小、富士見台小、
上石神井小



校長 原田 知樹

副校長 高橋 喜之

所在地 関町北5-13-40

1. 学級数・在籍児童数（令和7年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
2	男	0	4	8	3	3	3	21
	女	1	4	1	7	2	1	16
	計	1	8	9	10	5	4	37

2. 教育目標

言語力やコミュニケーション力を高め、学校、家庭、地域社会での適応をより確かなものにすることを目指して

- ① 思いやりがあり、友達と仲良くできる子供の育成を図る。
- ② のびのびと話のできる子供の育成を図る。
- ③ よく考え、行動力のある子供の育成を図る。

3. 指導の重点（基本方針）

- ①自分の気持ちがあるがままに受け止めてもらえた経験を通して、心理的な安定を図り、自己肯定感、自己有能感を育む。
- ②楽しくやり取りする経験を通して、コミュニケーション意欲を引き出す。
- ③やり取りに必要な正しい発音、リズム、話速、基本的な言語力、読み書きする力を育てる。
- ④保護者及び在籍学級担任との連絡を密にし、よりよい援助についての共通理解を図り、環境を調整し、指導効果の向上に努める。

4. 週時間割

	月	火	水	木	金	時間帯
1	教室会議	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	8:45~10:15
2						
中休み						
3	自立活動	自立活動	自立活動	教育相談	自立活動/ ケース会議	10:45~12:15
4						
給食・昼休						
5	自立活動	自立活動	各種 研究会	自立活動	自立活動	自立活動
6						
7	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	15:00~16:30
8						

5. 主な年間行事

- ①夏まつり（7月）
- ②ことばの発表会（12月）
- ③春風の集い（3月）

6. 電話

ことば (3594) 1231
職員室 (3920) 1027

ことばFAX (3594) 1231
事務室 (3920) 1026

関町北小学校 ことばの教室 紹介

言葉に心配がある子供たちを個別に指導している教室です

ことばの教室に通級するようになると…

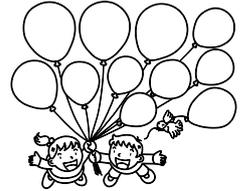
- ・ふだんは在籍学校で勉強しながら、週に1回程度時間を決めて(45分~90分)ことばの教室に通います。遅刻・早退扱いにはなりません。
- ・指導は1対1の個別指導を行います。必要に応じてグループで指導することもあります。
- ・保護者面談・在籍学級訪問等を行い、保護者・担任の先生と話し合うことで、通級児童についての共通理解を図ります。
- ・必要に応じて、医師、言語聴覚士、その他の専門家とも連絡を取り合います。

このような指導をしています

…人と一緒にいると楽しい・聞きたい・話したい・伝えたい…

こんな気持ちを育てることが、ことばの発達には大切です。

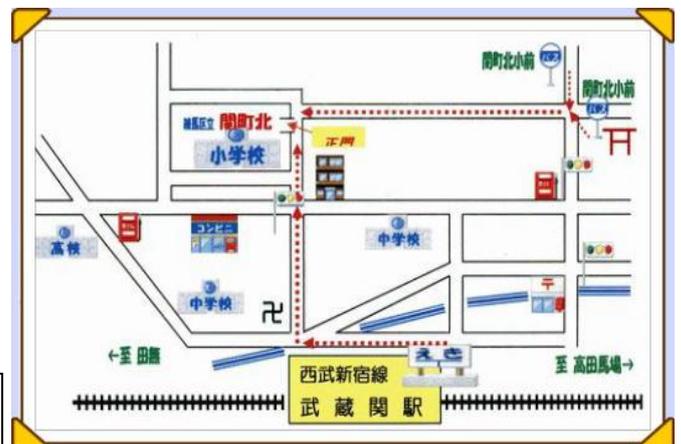
楽しくやり取りしながら、自分から進んで話そうとする気持ちを育てます。



- ・発話器官(唇・舌・顎等)の運動機能や、正しい音と誤った音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
- ・のびのびした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を身につけたりできるようにします。
- ・言葉の数を増やす、言葉を正しく組み立てる、場に合った言葉がつかえるようにする等、言葉の力を伸ばします。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字をスムーズに、正確に読んだり書いたりする力を伸ばしたり、一人一人の児童の実態に合った学び方をしていきます。
- ・保護者の方や在籍学級の先生と、ことばの教室での様子を伝えたり、学級や家庭での様子をうかがったりして言葉の改善に役立て、子供へのよりよい対応について考えていきます。

このような心配があればご相談を

1. 発音が正しくない。
 - ・「せんせい」を「テンテイ」、「かがみ」を「タダミ」と言うなど、発音に誤りがある。
 - ・発音がはっきりしない。
 - ・声が鼻にかかる。
2. 言葉がなめらかに出ない。
 - ・「ぼ、ぼ、ぼくがね」「ぼ——くがね」「…ぼくがね」等と繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
 - ・言おうとしているのに、言葉がなかなか出てこない。
3. 言葉の発達に遅れや偏りがある。
 - ・知っている言葉の数が少ない。
 - ・言葉がうまくつながらない。
 - ・あまりおしゃべりしない。
 - ・やり取りがうまくいかない。
4. 読み書きに心配がある。
 - ・文字を正しくすら読むことが苦手。
 - ・文字の書き誤りがある。漢字を覚えるのが苦手。



【通級区域校】

関町北小・関町小・立野小・石神井西小
石神井台小・大泉第二小

校長 小高 敏男

副校長 半野田 聡

所在地 東大泉4-25-1

1 学級数・在籍児童数（令和7年4月現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
3	男	6	9	6	11	4	2	38
	女	2	5	5	2	0	2	16
	計	8	14	11	13	4	4	54

2 教育目標

言語力やコミュニケーション力を高め、学校、家庭、地域社会での適応をより確かなものにすることを目指して

- ①伸び伸びと話ができる子供の育成を図る。
- ②体験したことや自分の気持ちを相手に伝えられる子供の育成を図る。
- ③相手の言ったことを理解できる子供の育成を図る。

3 指導の重点（基本方針）

- ①自分の気持ちがあるがままに受け止めてもらえた経験を通して、心理的な安定を図り、自己肯定感、自己有能感を育む。
- ②確実に楽しくやり取りできた経験を通して、やり取りに対する安心感を育て、コミュニケーション意欲を高める。
- ③やり取りに必要な正しい発音、リズム、話速、基本的な言語力を育てる。
- ④保護者及び在籍学級担任との連絡を密にし、よりよい支援についての共通理解を図り、環境を調整し、指導効果の向上に努める。

4 週時間割

*グループ指導が入ることがあります。

	月	火	水	木	金	時間帯
1	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	自立活動	8:50~10:10
2						
中休み						
3	自立活動	自立活動	教育相談	教室会議	ケース会議	10:40~12:00
4						
給食・昼休						
5	自立活動	自立活動	各種研究会	自立活動	自立活動	13:25~14:45
6						
7	自立活動	自立活動		自立活動	自立活動	14:55~16:15
8						

5 主な年間行事

- ①在籍学校訪問（4月）
- ②在籍学級訪問（4~6月、随時）
- ③学習展示会（11~12月）
- ④在籍学級担任授業参観（11~12月、随時）

6 電話

学級 (3924) 0261 FAX (3924) 0261
 職員室 (3924) 0144 事務室 (3924) 0145

大泉小学校 ことばの教室 紹介

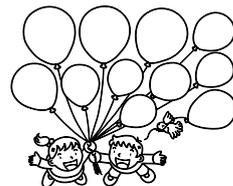
言葉に心配がある子供たちを個別に指導している教室です

ことばの教室に通級するようになって…

- ・ふだんは在籍学校で勉強しながら、週に1回程度時間を決めて(45分~90分)ことばの教室に通います。遅刻・早退扱いにはなりません。
- ・指導は1対1の個別指導を行います。必要に応じてグループで指導することもあります。
- ・保護者面談、在籍学級訪問などを行い、保護者、担任の先生と話し合うことで、通級児童についての共通理解を図ります。
- ・必要に応じて、医師、言語聴覚士、その他の専門家とも連絡を取り合います。

このような指導をしています

…人と一緒にいると楽しい・聞きたい・話したい・伝えたい…
こんな気持ちを育てることが、言葉の発達には大切です。
楽しくやり取りしながら、自分からすすんで話そうとする気持ちを育てます。



- ・発語器官(唇・舌・顎)の運動機能や、正しい音と誤った音を聞き分ける力を高めて、正しい発音へと導きます。
- ・伸び伸びした雰囲気の中で、楽しくおしゃべりしたり、楽な話し方を学習したりします。
- ・言葉の数を増やす、言葉を正しく組み立てる、場に合った言葉を使えるようにするなど、言葉の力を伸ばします。
- ・保護者の方や在籍学級の先生にことばの教室での様子を伝えたり、学級や家庭での様子をうかがったりして言葉の改善に役立て、子供へのよりよい対応について考えていきます。

このような心配があればご相談を

1 発音が正しくない

- ・「せんせい」を「テンテイ」、「かがみ」を「タダミ」と言うなど、発音に誤りがある。
- ・発音がはっきりしない。
- ・声が鼻にかかる。

2 吃音がある(言葉がなめらかに出てこない)

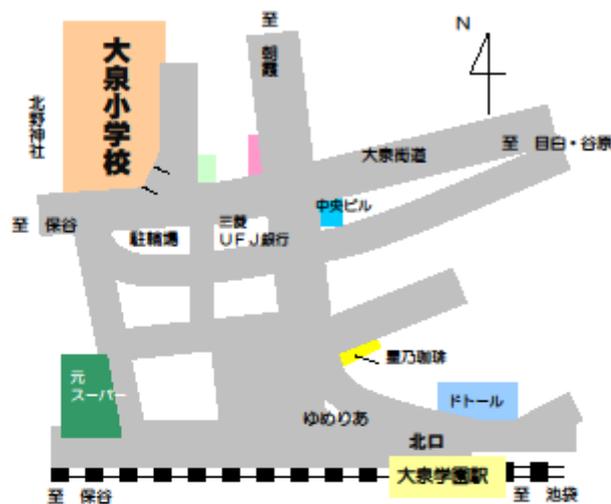
- ・「ぼ、ぼ、ぼくがね」「ぼ——くがね」「…ぼっくがね」などと繰り返したり、引き伸ばしたり、つまったりする。
- ・言おうとしているのに、言葉がなかなか出てこない。

3 言葉の発達が遅れている

- ・知っている言葉の数が少ない。
- ・話したいことがうまく表現できない。
- ・指示が理解できない。
- ・読み書きの間違が多い。

【通級区域校】

大泉小・大泉第一小・大泉第三小・大泉第四小
大泉第六小・大泉東小・大泉西小・大泉南小
大泉北小・大泉学園小・大泉学園緑小
大泉桜学園・泉新小・橋戸小・豊溪小・八坂小



校長 工藤 智昭

副校長 関 淳二

所在地 中村北4-17-1

1 学級数・在籍児童数（令和7年4月1日現在）

学級数	児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
1	男	1	0	0	1	1	1	4
	女	0	1	1	1	2	1	6
	計	1	1	1	2	3	2	10

2 教育目標

- ★たくさん友達をつくろう
- ★進んでよく見て、よく知ろう
- ★好きなことを見つけよう
- ★自分の見え方を知ろう

3 指導の重点（基本方針）

- 弱視の児童一人一人の実態に応じた個別指導計画を編成し、一人一人が目標や課題をもち、達成できるように支援する。
- 教材研究、指導方法および評価について創意工夫を加え、児童が意欲をもち、楽しく充実した活動ができるように支援する。
- 在籍校、在籍学級との連携を密にし、クラスにおける良好な人間関係が作れるように、より効果的な指導を行う。また、弱視児童本人が障害を理解し、在籍校、在籍学級においては、周囲の児童が障害について正しい理解を得られるような指導を行う際の支援をする。

4 週時間割

	月	火	水	木	金
1	自立活動・教科に応じた特別の指導				
2					
中休み					
3	自立活動・教科に応じた特別の指導				
4					
給食・昼休み					
5	自立活動・教科に応じた特別の指導				
6					

児童の実態に応じて、週2～4時間の授業を行う。

5 主な年間行事

- (1) 学級全員が集う学習会（年3回）同時開催保護者会・参観
- (2) 在籍学級訪問、在籍学級担任との情報交換会（学期に1回）
- (3) 個人面談（学期に1回/希望者）

6 電話

学級 (3990) 4254

職員室 (3990) 4237

FAX (3577) 7683

中村西小学校 目の教室

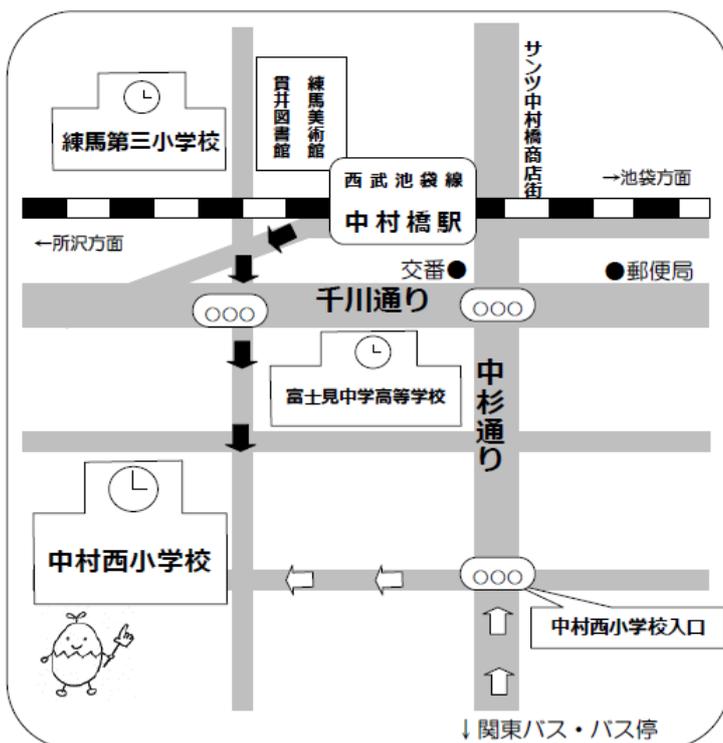
お子さんの こんなことにお困りではありませんか？

- 極端に目を近づけて本やテレビを見る。
- 画数の多い漢字や細かい目盛り、地図などを見ると疲れるのが早い。
- 本を読むとき、行をとばしたり、読み違えたりする。
- 階段や暗い所（雨の日・夜など）で、つまずきやすい。
- ボール運動で、ボールがどこから飛んでくるかわからない。

中村西小学校の【目の教室】は、「通級による指導」を行っている弱視通級指導学級です。地域の学校に在籍しながら、見えにくさに対応した個別の支援を受けられます。（実態に応じて、週2～4時間の自立活動・教科に応じた特別の指導をします。通級した日は在籍校の出席になります。）

見やすくする工夫や、よく見る練習をすることで学習の様子がずいぶん変わってきます。見学、体験入学等希望される時は、お気軽にお電話でご相談ください。

アクセス



交通機関

- 西武池袋線・中村橋駅下車徒歩6分
- 西武新宿線・鷲ノ宮駅下車
関東バス「中村橋駅行き」7分
【阿01・荻06 中村橋】
「中村三丁目」バス停下車 徒歩5分
- JR中央線・阿佐ヶ谷駅下車
北口2番乗り場より
関東バス「中村橋駅行き」15分
【阿01 中村橋】
「中村三丁目」バス停下車 徒歩5分
- JR中央線・荻窪駅下車
北口3番乗り場より
関東バス「中村橋駅行き」25分
【荻06 中村橋】
「中村三丁目」バス停下車 徒歩5分